

第3回米山記念奨学会委員会

日時：2025年8月23日（土） 11:30-13:00

会場：金沢ニューグランドホテル 4階 相生

次 第

11:30 開 会 米山記念奨学会委員長 松崎 秀規
出席者紹介

11:35 ガバナー挨拶 ガバナー 小山 英一

<<昼食開始>>

11:45 本日の議題

・活動報告 2025年7月～8月

① 関西・大阪万博研修 Web

② 卓話 Zoom 研修 月信/Web（アンケート分析・本人回答）

・活動予定

① 奨学生

（ア）9/15 一人一花能登復興プロジェクト 能登町14時～ 参加

（イ）10/12 どんどんまつり ポリオ募金 参加

（ウ）10/26 地区大会 参加 舞台挨拶

（エ）11/22 小松方面 企業研修 企画中

② 学友会

（ア）10/26 地区大会 募金活動、「第五回米山学友による世界大会」アピール

③ 採用

（ア）9/1～ 大学訪問（大学窓口担当者会議欠席大学に対して）

④ 寄付

（ア）7月締 寄付状況報告

・その他

アルバイト・インターンシップに関して

学友会からのお話

・次回委員会開催について

12月6日（土） 金沢ニューグランドホテルで開催

・第4回委員会開催

・面接委員オリエンテーション

・年末懇親会

13:00 終了予定

**国際ロータリー第2610地区
2025-26年度 ロータリー米山記念奨学会事業**

第3回地区委員会 関係者名簿

2025年8月23日（土） 11：30～13：00
金沢ニューグランドホテル 4階 相生

	役 職	氏 名	所属クラブ
1	公益財団法人ロータリー米山記念奨学会評議員	欠 湯浅外志男	小松
2	公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事	永田 義邦	高岡
3	2025-26年度ガバナー／カウンセラー	小山 英一	小松東
4	2025-26年度ガバナー・エレクト	翠田 章男	富山みらい
5	2025-26年度ガバナー・ノミニー	北川 善昭	金沢香林坊
6	2025-26年度ユース・米山部門カウンセラー	松本 耕作	金沢
7	2025-26年度地区幹事	潮津 勇	小松東
8	2025-26年度担当地区副幹事	欠 大畑 清三	小松
9	地区米山奨学委員会委員長	松崎 秀規	金沢
10	地区米山奨学委員会副委員長・奨学生	平木留里子	富山みらい
11	地区米山奨学委員会委員・奨学生	欠 古川 善康	立山
12	地区米山奨学委員会委員・奨学生／カウンセラー	横尾 宗憲	新湊中央
13	地区米山奨学委員会委員・奨学生	欠 柳澤 剣治	高岡
14	地区米山奨学委員会委員・奨学生	欠 森 吉信	小矢部中
15	地区米山奨学委員会委員・奨学生	藤間 勘菊	金沢百万石
16	地区米山奨学委員会副委員長・学友会	打出 孝彦	富山みらい
17	地区米山奨学委員会前委員長/委員・寄付	嶋田 登	小矢部
18	地区米山奨学委員会委員・学友会	欠 東 皆子	河北南
19	地区米山奨学委員会委員・学友会	欠 池辺 奏	金沢
20	地区米山奨学委員会副委員長・採用	新木 知彦	金沢香林坊
21	地区米山奨学委員会委員・採用／カウンセラー	大路 孝之	金沢百万石
22	地区米山奨学委員会委員・採用	宮本 一夫	加賀白山
23	地区米山奨学委員会副委員長・寄付	村谷 哲也	河北南
24	地区米山奨学委員会委員・寄付	宮森 恒成	野々市
25	地区米山学友会会長	範 雋偉	小矢部

1. 調査概要

対象：卓話研修に参加した米山奨学生

実施方法：オンラインフォームによるアンケート

回答数：22 件

目的：奨学生による卓話の質向上を図るため、自己評価およびフィードバック内容を収集・分析する

2. 自己評価の集計結果

(1) 内容のわかりやすさ

良い	: 15 名
とても良い	: 2 名
ふつう	: 3 名
やや不十分	: 1 名
不十分	: 1 名

➡ 多くの奨学生が「良い」と評価しており、一定の自信を持って発表に臨んでいる。

(2) 構成（導入・本論・まとめ）

良い	: 14 名
とても良い	: 4 名
ふつう・やや不十分・不十分	: 各数名

➡ 構成は比較的整っているが、一部に改善余地が見られる。

(3) 話し方（声・速さ・姿勢）

ふつう	: 11 名
良い	: 5 名
とても良い	: 2 名
やや不十分	: 3 名
不十分	: 1 名

➡ 「ふつう」と回答した割合が高く、発声・スピード・姿勢など話し方に課題意識が集中。

(4) 時間配分（目安：22 分）

良い	: 13 名
やや不十分	: 4 名
とても良い	: 2 名
不十分	: 2 名
ふつう	: 1 名

➡ 多くは適正な時間で収めているが、一部に不足・過剰が見られる。

(5) 聴き手への伝わりやすさ

良い	: 11 名
ふつう	: 8 名
とても良い	: 2 名
不十分	: 1 名

➡ 「ふつう」との回答が多く、聴衆への伝達力の向上が今後の課題。

3. フィードバックに基づく主な指摘・改善点

文化・生活面の内容強化：母国文化や日本文化をより具体的に紹介する工夫を求める声

資料改善：写真の解像度やスライドの完成度向上

日本語力・発音の強化：伝達の明確化に直結する課題として複数回答あり

時間配分・構成：一部に短すぎる／長すぎる発表の指摘あり

4. 今後の準備意識（奨学生への回答）

発音・話し方の練習

原稿作成と入念なリハーサル

質疑応答の準備・シミュレーション

他者に聞いてもらう練習による客観的フィードバック

5. 総合所見

強み

発表内容や構成に関しては概ね高評価であり、基礎的な発表力は一定水準に達している。

課題

「話し方」「聴衆への伝達力」に課題が集中しており、声の出し方・姿勢・スピード・発音が全体的な改善ポイント。

質疑応答や資料の完成度においても、実践的なトレーニングが必要。

今後の対応提案

模擬発表の回数を増やし、フィードバック機会を充実させる

発声・姿勢・発音に関するトレーニングを導入

質疑応答を想定した実践練習を取り入れる

6. 結論

本アンケートにより、奨学生は内容・構成面には一定の自信を持つ一方で、**話し方や聴衆への伝達力に改善の余地が大きい**ことが明らかとなった。

今後は、模擬卓話や発声練習、質疑応答訓練を強化することで、実際のクラブ卓話訪問においてより効果的な発表が可能になると考えられる。

以上

米山奨学生の皆さん、こんにちは！2610地区では、これまでアルバイト・インターンシップを認めていませんでしたが、今年度から条件付きで解禁することを検討しています。皆さんの学びと成長をより良くサポートするために、明るい気持ちでご意見をお聞かせください。学業・世話クラブ・奉仕活動を最優先にすることが前提です。

■基本情報

1. 奨学生氏名 _____
2. 世話クラブ名 _____

■現在の活動状況

3. 平日の勉強・研究時間（1 日平均）
 3 時間以下 - 4～6 時間 - 7～9 時間 - 10 時間以上
4. 奉仕活動・世話クラブ活動への参加状況
 積極的に参加している - 時々参加している - あまり参加していない
5. 現在の生活の忙しさ
 余裕がある - ちょうどよい - かなり忙しい - とても忙しい

■アルバイト・インターンシップについて

6. アルバイト・インターンシップをしたいですか？
 とてもしたい - 少ししたい - あまりしたくない - 全くしたくない
7. したい理由（複数選択可）
 生活費・学費の補助のため
 日本語力・コミュニケーション力向上のため
 日本社会・文化を体験したいため
 将来の就職・キャリアのため
 専門分野の実務経験を積むため
 友人・人脈作りのため
 家族への仕送りのため
 その他（具体的に： _____）

8. 希望する仕事の種類（複数選択可）

学内 RA/TA・チューター - 研究補助・実験補助

塾講師・家庭教師 - 翻訳・通訳

飲食店・カフェ - コンビニ・販売

IT・プログラミング - 事務・データ入力

企業インターンシップ - その他（ ）

9. 希望する週の労働時間（学期中）

5 時間以下 - 6～10 時間 - 11～15 時間 - 16～20 時間 - 21～28 時間

10. アルバイト・インターンシップが学業や奉仕活動に与える影響

良い面：[]

心配な面：[]

■サポートについて

11. 地区・世話クラブに期待するサポート（複数選択可）

資格外活動許可の取得方法の説明

履歴書の書き方・面接練習

職場で使う日本語・マナー研修

適切な職場の紹介・情報提供

学業との両立に関する相談窓口

労働法・トラブル時の相談支援

税金・年末調整の説明

その他（ ）

12. その他のご意見・要望

[]

以上